

しあわせ信州創造プラン3.0
(長野県総合5か年計画 2023~2027年度)

【基本目標】

確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る

○確かな暮らしを守る

新型コロナ、物価高騰、気候変動・災害の激甚化、人口減少・担い手不足など、かつてない危機的状況を克服し、県民の命と暮らしを守る

○信州からゆたかな社会を創る

社会・経済が成熟する中で、信州の強みや特色を十分に生かして、物質的にも精神的にも満たされた、本当の意味でゆたかな社会を長野県で全国に先駆けて創っていく

【政策の柱】

- ①持続可能で安定した暮らしを守る
- ②創造的で強靱な産業の発展を支援する
- ③快適でゆとりのある社会生活を創造する
- ④誰にでも居場所と出番がある社会をつくる
- ⑤誰もが主体的に学ぶことができる環境をつくる

誰一人取り残さないことを誓い、持続可能な社会の実現を目指すSDGsに呼応するもの
県の総合計画にSDGsの考え方がビルトイン・SDGsの達成に寄与するもの

SDGsの推進に資する主な取組

<2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的に取り上げるゴール>



①持続可能で安定した暮らしを守る

- ソーラーポテンシャルマップ等による屋根太陽光の導入を促進
- 企業局による小水力発電所建設支援
- 信州健康ゼロエネ住宅などの普及
- くらしふと信州による市町村等とのエネルギー自立地域づくりを推進
- 災害時の適切な避難行動の支援
- 自家用車に依存しないまちづくり、自転車利用環境の整備

②創造的で強靱な産業の発展を支援する

- 電気自動車の販路拡大のためEV関連産業クラスターの形成
- しあわせバイ信州運動の展開
- スタートアップ・エコシステムによる新規創業を促進
- 信州プラスチックスマート運動の促進
- エシカル消費の実践の促進

③快適でゆとりある社会生活を創造する

- 信州暮らしの魅力を発信し、移住を促進
- 森林整備への支援、山村地域での交流を促進
- まちなかへの緑地整備やUDC信州によるまちづくりの推進
- アーツカウンシルによる文化芸術活動への支援等

④誰にでも居場所と出番がある社会をつくる

- 信州こどもカフェなどの子どもの居場所づくりを促進
- 障がい者に対する差別解消
- 職場いきいきアドバンスカンパニー等を通じて家庭と仕事の両立や男性の育児休業取得を促進
- 若者・子育て世代応援プロジェクトの推進

⑤誰もが主体的に学ぶことができる環境をつくる

- 信州やまほいくの推進
- フリースクール等を通じた子どもたちの多様な学びの場を確保
- 信州自然留学の取組を推進
- 奨学金給付による大学等への進学を支援
- デジとしよ信州等による誰もがいつでも学べる環境を推進

推進体制

執行体制

- ・知事をトップとする部局長会議で推進
- ・ステークホルダーとの共創により取組を推進

ステークホルダーとの連携

- ・包括連携協定による民間企業・大学との連携
- ・市町村・公共的団体等との共創 等

自律的好循環の形成

- ・SDGs推進企業登録制度の普及拡大と企業間の交流・マッチングの促進
- ・ESG投資の推進